

News Letter

第32号

2021年12月

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団 〒105-0014 東京都港区芝3-16-13 MARUWAビル2階
TEL：03-5419-6513 FAX：03-5419-6514 URL：http://www.mwf.or.jp E-mail：info@mwf.or.jp

令和3年度 事業状況のご報告

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受ける年でしたが、長かった緊急事態宣言が明け、未来に希望を持てる年でもありました。現在は、延期となっていた人材育成海外派遣事業 第11回 CAF フラメンコ・コンクールの開催に向けた活動を再開しております。出演者の安全を最優先に、フラメンコの未来に期待する若き留学生の選出を無事達成できるよう尽力致します。当日は出演者、演奏者、審査員、スタッフに事前に抗原検査キットを配布し、ウイルスを劇場に持ち込まない取組みや、場内での感染症防止対策の実施を徹底致します。感染力の非常に強い変異株への懸念や、皆さまのご健康と安全を第一に考え、客席は無観客という決断を致しました。ご理解下さいますようお願い申し上げます。

助成事業では、新型コロナウイルスの影響で延期となっている助成作品は、無期限で助成の対象としております（応募時以外の作品に変更の場合は対象外）。各作品の開催時期については、随時 HP にて告知しております。

新規感染者が順調に減少していること、希望者のワクチン接種が完了間近ということを受け、東京都港区のスタジオ CASA DEL ARTE も開館致しました。感染症防止対策に必要な備品を配備、新しいルールを設け、皆様に安心して利用頂けるよう対応しております。

コロナ禍においても、フラメンコの情熱によって皆さまの心にエネルギーを届けられる様、私共も活動を続けてまいります。



東京都港区のスタジオ CASA DEL ARTE

令和元年度 海外派遣研修報告書

伊藤 笑苗

第10回 CAF フラメンコ・コンクールにて海外留学賞を受賞された伊藤笑苗さんよりレポートが届きましたので、ご報告をさせていただきます。



前回、クラスの様子などについて書かせていただいたので、留学を終えた今、改めてコロナ禍でフラメンコ留学を経験した意義について考えてみました。「残念だったね」「大変だったでしょう」と言われることが多かったですが、それはなかなか貴重な体験でもありました。特に、コロナの影響を受けたアーティストたちの声を聞いたことが大きかったです。やはり、フラメンコは観光客を含めて、見てくださる方々ありきで成り立っています。確かに、庶民の間で生じたフラメンコの力は計り知れませんが、同時にそれを観て、価値をおいてくれる観客がなくてこそフラメンコは発展できたのだということも学びました。今回、世界的なパンデミックがおき、人々の余裕が奪われました。命がかかっているのが当然のことです。しかし、それによって逆に窮地に立たされた人々が多いのも事実だと思います。フラメンコのアーティストたちも

例外ではありませんでした。どれだけ人生をフラメンコに捧げ、フラメンコ界で名をはせたとしても、社会の一部としてつながっている以上は世の中の影響を受けざるを得ません。素晴らしいアーティストたちが苦しむ姿をみて、正直辛く、気持ちが沈むことも多かったです。ロックダウン中、「私はフラメンコを通じて何が出来るだろう？」と幾度も考えさせられました。明確な答えは出ていませんが、もっと一般にフラメンコの観方を広めることができないだろうかと思うに至りました。といっても難しい話ではなく、フラメンコのあれこれがわかると新たな見方ができて「もっとフラメンコが面白くなるよ！」というだけの話です。もちろんフラメンコの楽しみ方は人それぞれです。ですが、私がそうだったようにフラメンコをより知ることでより好きになってもらえるのではないかと思います。このように抑圧された毎日だからこそ是非フラメンコに接してリフレッシュしてほしいです。留学は終わりましたがまだまだ学ぶことが山積みです。最後になりましたが、このような素晴らしい留学の機会をくださり、コロナパンデミックにおいても柔軟な対応をくださったスペイン舞踊振興 MARUWA 財団に心より感謝いたします。ありがとうございました。



撮影者：志風恭子

それは既に3年ほど前の話に遡ります。1年後、つまり2020年3月に大きな公演をしようと決意し、MARUWA財団の創作活動に対する助成事業への支援申請をしてみるようになりました。助成申請のためには2019年の3月中には公演内容、アーティスト、構成などを細かく報告しなければなりませんでしたが、『SINVUELO』公演。申請のおかげで、ヴィジョンは早くに固まったので、舞台美術の制作にも取りかかり、スペインへは2回渡西する準備をしました。全てのプロジェクトが順調に進んでいる矢先、2020年の公演間近だった3月、世界中を巻き込んだ未曾有のコロナ禍の影響により、現時点で開催は叶わぬものとなりました。そのさらに1年後の5月に公演を延期し、2020年いっぱいまでは希望を持ちつつ対策を整え、何度もミーティングを重ねました。しかし、収束の見通しも立たぬ今後のことを考慮した結果、ついに2021年5月をもってSINVUELO公演は無期延期する運びとなりました。2年間目眩がするほどの予算を投じ、それと同じく途方もない時間を費やしてきましたが、コロナウィルス感染拡大という誰もが予想しなかった結末を迎えてしまい、私だけでなく沢山の人の夢や希望を、あつけない奪い去っていったのです。しかしコロナにも、2年にわたる私のフラメンコへの想いだけは奪うことはできませんでした。不安と恐れを経て、気持ちは葛藤から覚悟へかわり、SINVUELO代替公演としての新プロジェクト、『夜明けの鼓動』の幕開けとなったわけです。公演が決まってあと3ヶ月しか猶予がないという異例のリサイタルでした。私にとっては尊敬とともに同志のような存在でもある日本のアーティストたちと、今まで一緒に泣いてきたスタッフたちと共に、この公演で少しでもフラメンコを届けたいという気持ちただひとつで挑んだ舞台です。現在は少しずつ状況は収まってきつつありますが、この頃は目に見えない禍におののき、翻弄され、ワイワイ騒ぐお祭りや飲み会は禁止、日常生活ではマスクの中で怒ったり笑ったり、相手の表情も伺えないという誰も経験したことのない時代真っ只中。多くのことを犠牲にして、みんな頑張ってるんだからと自分の気持ちを奥底に仕舞い込んで暗澹たる日々を過ごしていました。だけど、いつまでもその耐えが続くわけがないのです。知らないうちにじわじわと侵食され、心だって泣きたい笑いたい、衝動的な思いにつつまれたい。その膿が吹き出されるのが先か、壊れるのが先か。コロナ禍が始まって約1年、辛いこともありましたが、多くの人に助けられ、私自身はどちらかと言うと笑顔で暮らすことができたように思います。そんな私ですら内側に溜まったものを猛烈に吐き出す瞬間を欲していたのです。そして当時、アーティストたちや公演に携わるスタッフたち、観に来てくださったお客様も、みんな同じ気持ちだったのではないのでしょうか。3ヶ月という短い期間でしたが、そんなさまざまな思いが大きな渦、そして輪となり『夜明けの鼓動』公演は、無事に終演を迎えることができました。関わってくださった全ての方に感謝しています。難しい状況下でしたので、感謝の念はいつも以上に深く重く感じました。この公演を終えて、芸術とは決して不要不急ではなく、壊れる寸前だったかもしれない心の膿を取り除き、救ってくれるカタルシス『儀式』だったのではと、今でも実感しています。私の公演であって、私の公演ではなかったような、初めて味わうものでした。奇跡のような公演ではありましたが、それは紛れもなく生身の人間が起こしたエネルギーによって創り上げられたのです。オンラインが爆発的に普及する中で、このことはとても興味深く、意義のある公演だったとも思っています。『SINVUELO』公演プロジェクトもまだまだあきらめず続行していく所存です。『夜明けの鼓動』で培った経験、儀式のような体験が、きっとこのプロジェクトをさらに研ぎ澄まされた、よりフラメンコなものにしてくれることでしょう。まだいつになるかはわかりませんが、必ず実現します。それまで、今しばらく見守っていただければ幸いです。コロナが収束し、全ての芸術家が安心してアートに専念できる時が、1日も早く訪れるよう心から願ってやみません。



撮影者：YukiOmori

令和2年度助成作品報告

令和2年度の助成作品のうち、下記4作品の状況についてご報告させていただきます。

工藤朋子

「あぜ道」VOL.3 (助成金額 100万円)

※新型コロナウイルスの影響により延期

エストゥディオ・ラ・フェンテ 田村陽子フラメンコ生活25周年記念公演

「La Serpiente ~蛇になった女~」(助成金額 80万円)

※新型コロナウイルスの影響により延期

DANZARTE スペイン舞踊団

「書とフラメンコ～書道とスペイン舞踊の競演～」(助成金額 60万円)

※新型コロナウイルスの影響により延期

東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会

「スペイン舞踊部カンテ研究会 第27回リサイタル」(助成金額 10万円)

※新型コロナウイルスの影響により中止

令和3年度 助成作品決定

応募者名・作品名	決定助成金額	公演予定日
永田 健 「日本に恋した、フラメンコ」第2弾企画 首里城復興祈念ライブ	20万円	2021年11月3日 於：首里城 首里杜館芝生広場（沖縄県）
下山静香 〈おんがく×ブンガク〉vol.5～ガルシア・ ロルカ～〉	20万円	2021年10月公演予定 於：東京ウィメンズプラザホール（東京都渋谷区） ※新型コロナウイルスの影響により延期
野口杏里 TRANSFORMACIÓN 「TRANSFORMACIÓN」	20万円	2021年4月18日 於：ウィズ原宿ホール（東京都渋谷区）
東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会 「スペイン舞踊部カンテ研究会 第28回リサイ タル動画配信」	10万円	2021年7月3日～11日 於：Youtube チャンネル『TUFS スペイン舞踊部・カ ンテ研究会』

令和3年度の助成作品は上記5作品に決定致しました。うち1作品は新型コロナウイルスの影響で延期となりました。無事公演を終えられた野口杏里さん「TRANSFORMACIÓN」、東京外国語大学スペイン舞踊部・カンテ研究会「スペイン舞踊部カンテ研究会 第28回リサイタル」より、公演の感想が届きましたので、ご報告させていただきます。

TRANSFORMACIÓN

2021年4月18日（日） ウィズ原宿ホール 1回公演

野口 杏梨

初めての大規模なピアノフラメンコを主体としたライブ公演でしたが、ピアノフラメンコ、フラメンコ音楽を一般の方や様々な分野の方に観て頂き、公演後も新聞、Yahoo! ニュースや各メディア関係にも取り上げて頂きました。

まだ世の中が落ち着かないコロナ禍のこの公演が無事開催できたこと、素晴らしいスタッフ、メンバーに支えて迎えられたトランスフォルマシオンライブ、感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ国内では認知度が低いピアノフラメンコではありますが、これをきっかけに少しでも多くの方々に知って頂きたいと共にフラメンコに敬意と愛を持って活動を続けてまいりたいと思います。

そして、ピアノ、フラメンコギター、踊り『TRANSFORMACIÓN』が創り出す唯一無二の世界、新しい可能性を追求して行きたいと思っております。



撮影者：@MiCHiKO

スペイン舞踊部・カンテ研究会 第28回リサイタル

2021年7月3日（土）～11日（日） YouTube 動画配信

東京外国語大学
スペイン舞踊部・カンテ研究会

竹内 咲貴

コロナ禍での2年ぶりのリサイタルホール開催を目指し、部員一同練習を重ねておりましたが、今年もホール開催を実現することはできませんでした。しかし、初の試みとなったリサイタルYouTube 動画配信は、応援して下さった皆様のおかげで好評のうちに終演することができました。今回のリサイタルを迎えるにあたり、配信という形になっても変わらず多大なご支援をいただきました貴財団に、この場をお借りして心から御礼申し上げます。

不自由な環境での練習・撮影だったため未熟な部分も多々ありましたが、部員全員が踊りや音楽に対して思いを新たに、より一層感謝の気持ちを持ってリサイタルを終えることができたと感じております。来年こそホールでの開催を実現しより良い舞台をお見せできるよう、引き続き努力をして参ります。



撮影者：(有) フォトハウス・ネオ 照本

第11回CAFフラメンコ・コンクール(海外派遣事業)

皆さまのご健康と安全を第一に考え、客席は無観客での開催となります。
ご理解くださいます様、お願い申し上げます。

■日時・会場

[二次予選] 2022年1月 5日(水)15:00～ 北千住 Theatre1010(シアターセンジュ)
[本選] 2022年2月28日(月)16:00～ 北千住 Theatre1010(シアターセンジュ)

■賞

優勝 賞金100万円(含スペイン研修費)+スペイン往復航空券
準優勝 賞金50万円(含スペイン研修費)+スペイン往復航空券
海外留学賞 スペイン留学資格+滞在費補助+スペイン往復航空券

■応募資格

スペインでフラメンコ研修を希望する35歳以下の方(2021年3月31日時点)

■課題曲・制限時間

〈一次予選〉応募DVDによるビデオ審査

- ・アレグリアス系あるいはソレア系(1曲4分以内完結)
- ・CD、テープ等の音源可能。化粧、衣装は自由。正面からの全身撮影。編集不可。

〈二次予選〉舞台上での審査

- ・アレグリアス系、ソレア系あるいはシグリージャ系(5分以内)※一次・二次は同じ曲でも可。
- ・演奏者は3名までとし、ギター・カンテ・パルマのいずれかで構成する。CD、テープ等の音源による参加は不可。

〈本選〉舞台上での審査

- ・自由曲1曲(7分以内)※予選以外の曲
- ・演奏者は3名までとし、ギター・カンテ・パルマのいずれかで構成する。CD、テープ等の音源による参加は不可。



詳細は財団ホームページをご確認下さい。

■演奏者提供

二次予選・本選の出演者の金銭的負担は大きく、開催側でその負担削減に繋がる取り組みとして、希望者へ演奏者を提供致します。この試みの目的は、「演奏者への謝礼金負担により二次予選・本選に参加できない方を無くすこと」、最優先事項は「公平性」です。公平性の観点より「前回CAFフラメンコ・コンクール優勝者の演奏者」という枠で以下の演奏者を選考しご提供いたします。

〈演奏者〉

ギター：徳永 康次郎、カンテ：大淵 博光、パルマ：やの ちえみ

〈希望者1名に対する提供内容〉

- ・練習 時間：1日1時間のみ 場所：MARUWA財団スタジオ(東京都港区芝)
- ・当日 リハーサルおよび本番の演奏

演奏者と個人的に連絡を取り、追加練習の依頼などは可能。その分は自己負担とする。

定員数以上のご希望があった場合には、抽選とする。

令和4年度 助成事業 募集案内

■助成金

〈プロ枠〉総額 300万円 〈学生枠〉総額 50万円

■助成対象

2022年4月1日(木)～2023年3月31日(木)までに終了予定のフラメンコやフラメンコ音楽の普及、向上につながるような個人或いは団体が主催する国内公演、イベント企画(プロ枠)、学校の部活やサークルなど学生が運営する国内公演、イベント企画(学生枠)で、他機関からの助成を受けていないもの。過去に当財団の助成を受けた場合でもご応募いただけます。

■応募方法

当財団ホームページの助成事業のお問い合わせフォーム(<https://mwf.or.jp/contact/>)より「助成応募用紙」をお申し込みください。応募用紙に活動の企画、予算、過去の芸術活動等を要約してご記入の上、台本或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD(10分間)と共にご郵送ください。

■応募受付期間

2022年1月10日(月)～2月9日(水)【必着】

■選考結果

意欲的で優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を2022年3月31日(木)までに各団体宛に通知いたします。尚、助成金支給は公演終了後1か月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■お問い合わせ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA財団
〒105-0014 東京都港区芝3-16-13

MARUWAビル2階

Tel.03-5419-6513

Fax.03-5419-6514

E-mail info@mwf.or.jp

URL <http://www.mwf.or.jp/>